

NEWS *Club* OA

第13号

今さら聞けないふるさと納税

FP（ファイナンシャルプランナー）・IFA
（金融商品仲介業
／独立系ファイナンシャルアドバイザー）

茂木 政樹



2024年10月21日発行

ふるさと納税、気になってはいるけど「今さら聞けない」と思っている方も多いのではないのでしょうか？特に、30～40代で起業に挑戦し、ビジネスに忙しい毎日を送る女性起業家の皆さんにとっては、税金の知識は仕事に直結する重要な要素です。しかし、ふるさと納税は「納税」という言葉がつくものの、うまく活用すればビジネスに使える資源や自己投資としても役立てることができま

す。

この記事では、そんなふるさと納税を、初心者でもわかりやすく、そして「実はこんなにお得なんだ！」と感じてもらえる視点で解説していきます。ビジネスで成功するためにも、税金対策の一環としてぜひ知っておきたい内容です。

1. ふるさと納税とは？

まず、ふるさと納税について基本的なところから確認しましょう。ふるさと納税は、簡単に言えば「自分が応援したい自治体に寄付をする」という仕組みです。そして、寄付をした金額のうち、2,000円を超える部分が所得税や住民税から控除されるのが魅力です。加えて、多くの自治体では寄付のお礼として特産品などがもらえるため、実質2,000円で豪華な返礼品を手に入れられることがポイントです。

ビジネス的視点でのポイント：

女性起業家にとって、この控除は「税負担を減らす」だけでなく、ふるさと納税を通じて地方の事業や産業をサポートできるため、ビジネスの面でも「社会貢献」という要素が加わります。地方企業との新たなビジネスチャンスが生まれることもあるでしょう。

2. ふるさと納税のメリット

ふるさと納税のメリットは、ただ控除を受けられるだけではありません。以下に、女性起業家にとって特に魅力的なポイントを挙げてみましょう。

1) 税金の節約

ビジネスをしていると、利益が出た年は当然税金の支払いが増えるのが悩みどころです。しかし、ふるさと納税を利用すれば、寄付金の控除を受けることで節税が可能です。もちろん、使い方次第ですが、計画的に寄付を行えば、無理なく税負担を軽減できるでしょう。

2) 返礼品で生活を充実

女性起業家として、忙しい毎日を過ごす中で「ちょっと贅沢」を楽しむことも大事ですよ。ふるさと納税では、日本全国の自治体から選べる特産品やサービスが豊富に揃っています。

高級な和牛、海産物、お米などの日常的な食材をお得に手に入れたり、美容や健康に役立つ商品も多く提供されています。こうした返礼品を利用すれば、日々の生活を豊かにしつつ、経費を抑えることができます。

3) 自己投資としてのふるさと納税

ふるさと納税の返礼品には、ビジネスにも役立つものがたくさんあります。例えば、地域の特産品をビジネスに活用したいと考えているなら、試験的にふるさと納税でその商品を取り寄せてみるのも手です。また、自己研鑽として地方の体験型返礼品やツアーを活用することで、リフレッシュしながら新たなビジネスのアイデアを得ることも可能です。

3. どれくらい寄付すればいいの？

次に、「どれくらいの金額を寄付すればお得になるのか？」という疑問について触れてみましょう。寄付できる金額は年収や家族構成、住んでいる地域によって異なりますが、ざっくりした目安を知っておけば、どのくらい寄付すれば良いか判断しやすくなります。

寄付可能額の目安：

例えば、年収500万円の起業家であれば、年間で5~6万円程度の寄付が可能です。年収が上がるほど寄付できる金額も増えます。これにより、例えば10万円寄付したとしても、2,000円を除いた金額が税額控除され、かつ豪華な返礼品を受け取れるため、実質的には大きな得となります。

ワンストップ特例制度の活用：

さらに、ふるさと納税を簡単に利用できる「ワンストップ特例制度」という仕組みがあります。これを使えば、確定申告をしなくても住民税の控除が受けられるため、個人事業主やフリーランスの方でも手軽に活用できるのが魅力です。

4. ふるさと納税の注意点

ただし、ふるさと納税を最大限に活用するには、いくつかの注意点も知っておく必要があります。

1) 寄付できる金額の上限

寄付できる金額には上限があり、その金額を超えると控除されない部分が出てしまいます。したがって、自分の寄付可能額をしっかりと確認して、無理のない範囲で寄付をすることが大切です。

2) 返礼品の選び方

返礼品に魅力を感じるあまり、必要以上に寄付をしてしまうことも考えられます。返礼品を選ぶ際は、実際に使うものや価値があるものに絞り、無駄遣いを避けることがポイントです。

3) ワンストップ特例申請の期限

ワンストップ特例を利用する場合、申請書の提出期限があります。これを逃すと確定申告が必要になるため、申請手続きは早めに行いましょう。

5. ふるさと納税で自己投資&ビジネスにもメリットを

最後に、ふるさと納税を活用して、自己投資やビジネスにどう役立てるかをまとめてみます。返礼品を上手に活用して、日常の生活を豊かにすることはもちろん、ビジネスで使える物資やサービスを取り入れることで、業務の効率化やリフレッシュにもつなげることができます。

例えば、美容や健康関連の商品を活用して自己管理を高めたり、地域の特産品を試して新たなビジネスチャンスを模索することもできるでしょう。ふるさと納税を通じて、地方とのつながりを深め、今後のビジネス展開に役立てることも可能です。

結論：今こそふるさと納税を始めよう！

ふるさと納税は、30～40代の女性起業家にとって「今さら聞けない」どころか、むしろ今こそ活用すべき制度です。税金の負担を軽減しつつ、日常生活を豊かにし、ビジネスにも役立てられるこの制度を使わない手はありません。忙しい毎日を送る女性起業家こそ、ふるさと納税を賢く活用してみてください。

ファイナルプランナー（兼IFA）茂木政樹